

本部/組合員会館 〒690-0017 松江市西津田1丁目10-40

商品センター 〒693-0043 出雲市長浜町516-41

松 江 北 支 所 〒690-0871 松江市東奥谷町362-1

松 江 南 支 所 〒699-0111 松江市東出雲町意宇南3丁目1番1

出 雲 支 所 〒693-0058 出雲市矢野町487-1

雲 南 支 所 〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋1249

大 田 支 所 〒694-0064 大田市大田町大田口1177-1

浜 田 支 所 〒697-0006 浜田市下府町327-135

益 田 支 所 〒698-0041 益田市高津6丁目15番49号

### 生協しまねホームページ

https://www.coop-shimane.jp/





### CSRレポート発刊にあたって



ビジョン「共に生き、共に創る豊かなくらし」実現は、SDGsが目指す世界と重ね合わすことができます。 CSR Report 2020「事業・社会・環境活動についての報告書」は、SDGsという物差しを通じて、この1年間 の自分たちの活動の歩みを検証したものです。SDGsは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社 会を創りだしていくための道しるべです。

4月に入っても新型コロナウイルスは、沈静化するどころか益々猛威を振るい、ついに島根県でもクラス ター(感染者集団)の発生を伴う感染が判明しました。そして、感染拡大に歯止めをかけようと、全国に緊急事 態宣言が出されました。県内の小中高大学は、臨時休校することとなり、外出自粛の徹底を呼びかけていま

そのためか、衛生商品をはじめ米や冷凍食品等の需要が増したことで、生協の宅配事業は大きく伸長しま した。しかし、ウイルス感染がいつ収束するのかも全く見えず、「半年先、1年越えの長期対応が続く」との見方 もあり、先行きが不透明というか、不安は募るばかりです。世界経済も重大な危機に瀕しています。過去には 中国·香港を中心に蔓延した感染症SARS(サーズ)がありましたが、今回ほど身近な脅威として日々の暮ら しの在り方まで左右されるような経験はありませんし、それが世界的規模になっているという点では「人類史 上初めて」と言ってもいいかもしれません。SARSではアジアで約8000人の感染者を出し、経済損失は4000 億ドル(約4.2兆円)に達したといわれています。しかし、今回の新型コロナウイルスは、現時点で世界180ヵ国 約400万人が感染し、経済的損失は、はかりきれません。

低賃金と広大な市場を求め、中国に進出した世界の多国籍企業の一大生産拠点において、ひとたび今回の ような状況に見舞われれば、世界的な部品供給網がたちどころに寸断され、その影響は長期にわたります。自 動車生産然りで、世界の車メーカーが生産停止に追い込まれています。これも、何もかも「世界の工場」とし て、中国に一局集中した結果と言えます。新型コロナウイルスは、現代の地球環境や世界経済のありように対 し、人類すべてに警鐘を鳴らしているのかもしれません。

私たちは、つながりを通じてお互いの存在とくらしを認め合い、尊重し合える関係の中で「一人ひとりの自 分らしいくらしづくり」に軸足を置き、「私たちの未来は、今のくらし振りから生み出される」ことを自覚しつつ 「くらし発」の活動を進めていきます。そして、さまざまな「場」においては、お互いの当事者感覚を大切にしな がら「共に生き、共に創る」組織として連携と協同を広げ、誰もがくらしやすい社会を創り出していきます。そ のためにも、エシカル消費の推進と地球温暖化対策、子どもの貧困問題、戦争のない平和な世の中の実現等 の課題を掲げ、「観客ではなく選手」として、積極的に取り組んでいきます。

### 牛協しまねの概要

称 / 生活協同組合しまね ■名

部 / 〒690-0017

島根県松江市西津田1丁月10-40

長 / 安井 光夫

■事業活動エリア / 島根県内

立 / 1984年11月19日

■事業 所/支所7ヵ所 商品センター

■2019年度概況 / ○組合員数 69.135人 ○供給高 81億6.413万円

○出資金 26億2.887万円

○職 277人

### 生協しまねビジョン(2017年第33回通常総代会決議)

### 共に生き

# 共に創る豊かなくらし

### はじめに

私たちは、生協しまね2000年ビジョン「想いをかたちに~共に創る豊かなくらし」を掲げ、「一人ひとりが自 分らしく生きるということを活動の指針とし、「くらし発しの事業や組合員活動に取り組んできました。

そして、ビジョンのもとでの活動は、「人と人との関わりがより豊かになればなるほど、新たな活力、元気が 生まれ、豊かなくらしづくりへとつながっていく「ことを導き出しました。現に、班をはじめ生協の集まりの場 では、お互いに自分の想いを発信しながらも、その場をより良いものにするためのはたらきかけが生まれて います。それは、お互いを「思いやる心」の循環を生み出して「共に生き、共に創る」共存在の居場所づくりにつ ながっていきます。

一方で、急速な少子高齢化・人口減少、コミュニティの衰退、くらしや「食」の市場化等が人々の孤立を招き、 私たちを取り巻く社会は見通しの立てづらい不安に満ちた状態です。とりわけ、くらしの根本である日常的な 「食」が、ないがしろにされるような傾向は事態の深刻さを端的に示しています。

私たちは、このような中にあって組合員・生産者・職員と共に、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食 文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。

そして、つながりを通じてお互いの存在とくらしを認め合い、尊重し合える関係の中で「一人ひとりの自分 らしいくらしづくり」に軸足を置き、「私たちの未来は、今のくらし振りから生み出される」ことを自覚しつつ進 みます。

さらに、さまざまな「場」においては、お互いの当事者感覚を大切にしながら「共に生き、共に創る」組織とし て連携と協同を広げ、誰もがくらしやすい社会を創り出していきます。

### ビジョンを実現するうえで大切にしたいこと

- 1.私たちは、一人ひとりが「自分らしく生きる」ことと、人との関わりをより豊かにすることを 大切にしていきます。
- 2. 私たちは、おしゃべりから生まれる知恵や元気、安心感、共感を大切にし、新しいくらしづくりにつな げていきます。
- 3.私たちは、安全安心な「食」を基本にして、一人ひとりの「くらし発」の想いや工夫を交流し、 つなぎ、より豊かな「食文化」を創っていきます。
- 4. 私たちは、安心して住み続けられる地域をめざし、他団体や行政などと連携・協同して、 新たな生協の役割を創っていきます。
- 5. 職員は、組合員から得たくらしの知恵や工夫をつなぎ、循環させて、組合員のよりよいくらしづくりに 役割を発揮します。

### 2019年度方針

- 日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。 特に商品を真ん中にしたくらしのおしゃべりは、共感や発見、そして「自分らしく生きる」ことにもつなが り、人間の持つ社会性を育む上でも大切なことだと考えます。
- 2 「共に生き、共に創る」組織として、「つながる」ことを基本とした生協の事業は益々重要です。 職員も組合員も取引先も共につながって、ビジョン実現に向け活動していきます。
- 3 人と人との関係性が希薄化する中、地域社会において、連携する力、つなぐ力、つながる力を磨き、新た な関係性を生み出していきます。そして誰もが安心してくらし続けることができる地域社会を創り出し ていきます。

CSR Report 2020 2 CSR Report 2020

### 生協しまねとSDGs

SDGsは日本語で「持続可能な開発目標」と訳されます。今、世界では貧困・飢餓・児童労働・地球温暖化・自 然破壊など、様々な課題があります。このような課題を解決し、持続可能なよりよい世界を目指すための国際 社会共通の目標として、2015年に国連で採択されたのがSDGsです。SDGsは、17の目標と167のターゲット から構成されています。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、2030年までに何世代も先の人々がこの 地球で暮らし続けるための取り組みが世界で進められています。

### SUSTAINABLE GALS































生協しまねは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

### CONTENTS

生協しまねが取り組んでいる事業・活動の中で、SDGs実現に関連する事柄に、それぞれSDGs(17の目 標)のアイコンを掲載しています。

### P4-7

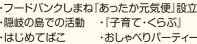
### 安心して暮らせる地域づくりのために











- ・なないろ食堂 ・地域ネット
- ・リーディングサービス ・夕食宅配

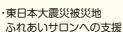
### ・おしゃべりパーティー

### P8

### 復興支援







### P9-11 持続可能な生産と消費のために









- ・産直の取り組み
  - ・もずく基金
  - ・声に応えて「ひとことカード」 ・お申し出受付カード

### P12

### 世界中の人々の平和で健康な生活のために



・ユニセフ募金



- 折り鶴昇華再生活動
- ・戦争体験を語り継ぐ集い
- ・ピースリレー

### P13

### 未来の地球のために





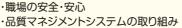
- ·電気使用状況 ·車両燃料使用状況
- ・リサイクル活動 ・生協しまねソーラー発電所

### P14-16

### 人にやさしく誇りがもてる組織を目指して













### 「フードバンクしまね『あったか元気便』」設立







経済的に困っている家庭に企業や家庭に眠っている食料品などを届け、少しでも食卓や生活が豊かになるよう に応援する『フードバンク』の取り組み。生協しまねでは、2018年、他団体と連携して試験的に取り組んできまし た。そして、1年間の試行期間を経て2019年6月6日、正式に「フードバンクしまね『あったか元気便』」として設立 されました。

2019年度は、古志原小学校・松江第四中学校・津田小学校を 対象として生活困窮世帯に夏休み2回、冬休み1回、春休みに1 回、計4回の発送を行い、延べ392世帯、1400人に食料品をお 届けしました。発送している食品は、組合員のみなさんから寄 せられた支援募金から購入したもの、他団体のみなさんから寄 せられたものです。多くの喜びの声、継続を希望する声、そして 対象範囲拡大の声を受け、この取り組みの必要性をあらためて 確認しました。



ボランティアー人ひとりが自筆でメッセージを記入し、荷物に

# 利用された方の声

### 家計と心が救われています

初めて届いたときは、あたたかいメッセージに涙が出ました。家計だけでなく、心まで 支えていただき、この企画にすごく救われています。感謝でいっぱいです。

### 子どもたちが笑顔になりました

朝から夜まで私が仕事でいないので、「家にあるものを食べなさい」ということになりが ちです。元気便が届いたときの子どもたちの明るい笑顔!すぐにおいしく食べられるもの がたくさん入っており、私も「やったー!」と声を上げて喜びました。気にかけてくれる人が いるという安心感がありがたいです。子どもが2人とも入学です。明るい気持ちで春休み を過ごせそうです。

CSR Report 2020 CSR Report 2020 4









### 安心して暮らせる地域づくりの ために



### 隠岐の島での活動





試食&即売会のようす

組合員とメーカーとの交流の場面

### 隠岐の島町 試食&即売会

9月1日(日)、隠岐の島町の「隠岐島文化会館」にて、「隠岐の島町 試食&即売会」を開催しました。普段顔を合わせることのないメーカー(15社参加)の皆さんから、商品についての詳しいお話や調理方法などを聞いたり、試食した感想を伝えたりと楽しく交流ができました。

隠岐の島では、商品について知ってもらう機会や生協自体を広く伝える機会が少ない中、230名の来場があり実際に生協商品に触れていただく機会になりました。



班利用(試験配送)の広がり

2019年度、隠岐の島町内の班利用(試験班配送)は 11班となりました。班を利用している組合員からは、 「利用しやすくなった」「商品や生協の話をするように なり、職場でのコミュニケーション作りにも役立った」な どの声をいただいています。また、岬ステーションと五 箇ステーションの2ヵ所での商品利用も引き続き行って おり、さらに商品を知っていただくため、試食などの取 り組みも開始しています。

班の荷受けのようす

### はじめてばこ

島根県に生まれてくる子どもたちを祝福し"はじめてばこ"をお届けする、BSS山陰放送主催の「Hello! Dear Baby~はじめてばこ~」の取り組みに賛同し、生協商品の提供と"はじめてばこ"のお届けを担いました。

生協からは、「おしりふき」や「たまごスープ」、「発酵バターのショートブレッド」など人気商品を提供しています。

2019年度は約1,400世帯にお届けすることができました。2020年度も引き続き取り組んでいきます。



お届けしている"はじめてばこ"

### なないろ食堂



じゃがいも掘りのようす

「なないろ食堂」は、子どもたちへ食事の提供、学習の場の提供、学習支援、生活支援や世代間交流の活動を行っています。生協しまねは、安心して暮らせる地域づくりを応援するため、食材の提供などを行っています。毎月1回、じゃがいも掘りやケーキづくり、クリスマス会や餅つきなど、季節に合わせ様々な活動を行っています。

また、島根大学の学生のみなさんをはじめ地域の方々の協力もいただき、ボランティアの輪が広がっています。

### 地域ネット



江津地域ネット



西津田地域ネット:オリーブオイルの学習会のようす

地域での組合員どうしのつながりを応援する取り組みのひとつとして、月に1回、「地域ネット」という集まりの場を作っています。組合員が身近な場所に集まって生協商品を囲みながら、自分のくらしや地域のことなどをおしゃべりする場です。一緒に料理を作ったり食べたりすることで、お互いのくらしを交流する時間となっています。また、その交流の中で"やりたいこと"が見つかり、新たな料理に挑戦したり、創作活動を行ったり、生協商品のメーカーを招いて学習する地域ネットもありました。2019年度は、37ネット、246名が参加しました。

### 『子育で・くらぶ』



松江北支所「子育て・くらぶ」

イキイキと安心して子育てができるように、地域での子育て世代のつながりを応援する『子育て・くらぶ』という集まりの場を月に1回作っています。同じ子育て中のお母さんと出会うことができ、子育てについて、生協商品について、家事の時短方法など、くらしに役立つ情報を交流できる場です。

### 参加組合員より -

新しい子育ての情報がほしい、生協の商品についてもっと情報 交換をしたいと思って参加しました。特に育児に時間をとられ料理に力を入れられないことに自己嫌悪になっていましたが、他 のみなさんも生協の便利な商品をフル活用しているようすを知ることができ、頑張り過ぎないで子どもたちと楽しく過ごせる時間を大切にしていきたいと思えるようになりました。

CSR Report 2020 CSR Report 2020









### **安心して暮らせる地域づくりのために**

### おしゃべりパーティー

組合員どうしはもちろん、地域 のつながりづくりを応援する企 画として「おしゃべりパーティー」 の開催を呼びかけました。

約3.600ヵ所15.000人の参加 で行われ、開催後に記入いただ いたアンケートからは「おしゃべ りするきっかけになった!「リフ レッシュできた」と、つながりづく りを後押しする企画になったこと が伺えました。





おしゃべりパーティーのようす

### 参加組合員より

子どもが小学校に入学し知り合ったママ友と初めて集まりました。小学校に入学してからのようすやゲームをどん なふうにさせているか、下の子の育休が終了し春から復帰する人も多いので、学童の話やこれから仕事をどんなふ うにしていくかなど、みんなと話ができてよかったです。

### リーディングサービス



応援者が商品情報をCDに吹き込ん でいるようす

目の不自由な方に商品カタログ「シエル」「だいすき」などに掲載されている商品 情報をCD版《聴くカタログ》にしてお届けしています。利用している組合員からは 「週1度買い物に連れて行ってもらっているが、必要があるところにしか行かないの で、これなら、ゆっくりいろいろな商品を聞くことができる」と、嬉しい声をいただい ています。



リーディングサービス交流会のようす

9月27日には、リーディングサービ スを利用している組合員の交流会を 開催し、日頃のくらしぶりやお気に入 り商品、リーディングサービスの利用 方法、要望などを交流しました。この 声を受けとめ、より誰もが安心して暮 らせる地域になるよう、検討をすすめ ていきます。

### 夕食宅配

夕食宅配がスタートして9年となりました。月曜日~金曜日、毎日お 弁当をお届けしています。高齢の方はもちろん、妊娠中で体調が優れ ない方、子育て中で時間に余裕がない方などに喜ばれています。 また、見守り応援の一面もあり、配達は手渡しを

基本としています。

現在、1日あたり約1,400食をお届け しています。



夕食宅配のお弁当

夕食宅配の配達のようす

# 復興支援



### 東日本大震災被災地 ふれあいサロンへの支援

生協しまねはこれまで、東日本大震災の支援活動の一環として2013年11月から、いわて生協を通して仮設住 宅での「ふれあいサロン」活動に島根のお菓子を提供してきました。ピーク時には79会場で開催されていたサロン 活動ですが、2019年末で終了となり、島根からのお菓子の提供も終えることとなりました。

10月4日(金)、「ふれあいサロン サン・ビレッジ高田」に最後のお菓子をお渡しするため、理事6名が訪問しました。



ふれあいサロンに最後の お菓子をお渡ししました



「てんどなし(不器用)だけど、おしゃ ペリが楽しい「夫と息子が亡くな り、一人暮らしで出かけるところも ないです「被災で何もかも無くな り、この裁縫道具もいただきもので す」「自宅を新しく建てたが周りは知 らない人ばかりで…」

復興支援住宅などの建設が進む 中、別々の仮設住宅からされざれが 移り住むため、孤立しがちな現状が 伺えました。同時に、このサロンの場 が心おきなくおしゃべりでき、参加 者にとって安らぎの場になっている ようすが伝わってきました。

ふれあいサロンのようす

いわて生協を通したサロン活動へのお菓子の提供は終了しますが、これでつながりがなくなったわけではあり ません。岩手の地場産業復興に一役買っている「かけあしの会(岩手県宮古市)」の商品は引き続き、「総代・組合 員交流会」等で販売していきます。今後とも「被災地と共に生き、忘れない」を心に、つながっていきます。 ※みやぎ生協のサロン活動に対しては、引き続きお菓子の提供を行っています。

### 復興支援商品の販売

10月の「秋の総代・組合員交流会」では、ふれあいサロン訪問時に紹介いただいた「おばちゃん手芸部」の手 芸品の紹介と販売を行いました。「おばちゃん手芸部」は、仮設住宅で孤立しがちな高齢者を中心に声かけをし て集まったグループです。

また、岩手県宮古市「かけあしの会」の商品も販売しました。



手芸品 販売のようす



かけあしの会 商品販売











## ☆ ☆ 持続可能な生産と消費のために



### 産直の取り組み

生協の産直は、生産者と組合員のおたがいの顔が見える『産地直結』の活動です。組合員が生産者の顔を知 るとともに、生産者と組合員、生協が心のふれあいを通しておたがいを理解していくことを大切にしていま す。特に、交流会や学習会などから生産者、組合員の状況や想い、願いなどを本音で出し合い、"共に創る"関係 を築いていくことを目指しています。

### "産直"を すすめていく 4つの基準

①組合員と交流できること。なによりもお互いの顔が見える関係を大事にしていきます。

②どこで、だれが、どのようにつくったかわかること。

③記録・点検・検査などによる、検証システムを手段として持っていること。

④安定して、継続的に商品がお届けでき、環境に配慮した事業の推進ができること。

### 『サン・くらふとの会』台風19号復興支援

10月12日夜から13日未明にかけて東日本を通過した台風19号の影響で、長野市の千曲川の堤防が決壊し、 その付近にある産直提携先『サン・くらふとの会』生産者3名の自宅家屋とりんご畑が浸水しました。

3名の自宅は、今回の堤防決壊で1階天井付近まで濁流にのみ込まれ、内2名のお宅の家財はほとんど流されま した。自宅周辺に広がるりんご畑では出荷間近のシナノスイートや秋映、シナノゴールドの樹が約1m80cm浸水 し、無残な姿に。さらに、すでに収穫を終えた紅玉などたくさんのりんごは保管庫内で泥水に浸かり、出荷できな くなりました。

### ●被災した生産者の支援に 職員5名を派遣

約35年に渡り安全・安心なりんごを組 合員に安定して供給いただいている産直 産地の危機的状況に想いを馳せ、支援活 動を行いました。11月15日~21日、11月 28日~30日の10日間に渡り職員5名を派 遣し、生産者と一緒に復旧作業にあたりま した。



生産者の自宅に流れ込んだ泥土を 撤去しているようす



りんご畑に堆積した泥土を撤去しているようす

### ●募金での支援

「『サン・くらふとの会』を支援する募金」では、組合員のみなさんから208万8595円の募金が寄せられまし た。集まった募金は被災された生産者の生活及び産直りんご栽培の再建に役立てていただきます。

### ●組合員からのメッセージをお渡ししました

募金の協力にあわせて237名の組合員から"応援メッセー ジ"が寄せられました。寄せられたメッセージは、支援活動の際 に生産者8名に手渡しました。

被災した生産者からは「生協しまねのたくさんの組合員さん が私たちのことを心配してくださっていることを知り、また頑 張ろうという気持ちになりました。本当にありがとうございま す」と、メッセージをいただきました。

現在は、被害りんごの木に満開の花が咲き、来年に向けての 見通しが立ってきたところです。

### いつの日か、またおいしいりんごを

いつも『サン・くらふとの会』のりんごを祭 しみにしていました。生協で知ってからずっ とファンです。この度の台風による被害、大 変だったことと思います。でも、待っていま す。いつの日かまたおいしいりんごを食べる ことができる日を心待ちにしています。

### 組合員の産地見学

### ●しもつコープファーム

11月16日~11月17日にかけて『産直しもつみかん』の産地である、しも つコープファーム(和歌山県)に組合員2名と組合員理事2名が見学に行き ました。

『産直しもつみかん』は、農薬の使用を一般的な栽培の3割減で栽培して います。「農薬の散布が少なければ病気にかかるリスクが高く、収穫量が落 ち込む可能性がありますが、組合員の安全・安心なみかんを食べたいとい う想いを受けて栽培しています」とお話しいただきました。



しもつコープファームでの収穫体験のようす

### 参加者の感想

収穫は1個1個手作業でされるとか。大変だと思います。おかげでおいしいみかんが食べられることを実感しました。

### ●津軽産直組合

11月2日~3日にかけて組合員5名と組合員理事4名が『葉とらずりん ご』の産地、津軽産直組合に見学に行きました。

生産者どうしが協力し合い、現状に満足せず、「よりおいしいりんごを 作りたい」という強い想いを持って栽培してくださっていることを実感 することができました。



津軽産直組合 産地見学のようす

### 参加者の感想

生産者さんの人柄やりんごづくりにかける想いをあらためてしっかり受け止めることができたように思います。日々努 カしてワンチームでりんごを作っておられることがひしひしと伝わり、ますます『葉とらずりんご』が大好きになりました。

### 職員農業体験

### ●しもつコープファーム

収穫体験をはじめ清美オレンジの袋かけ、選別作業の見学などを通して、生 産者のご苦労を実感しました。また、みかんの特徴やおいしいみかんの見分け 方などを学びました。



生産者の苦労を実感

袋かけの作業では、1つの木に1時間以上かかりました。足元が傾斜の中、進ん でいる実感がなかなか湧かない作業をこなすことは肉体的だけでなく、精神的 にも大変でした。1つ1つのみかんを生産者さんがどれだけ苦労して栽培されて いるのかを知ることができました。

職員農業体験 しもつコープファーム

### ●津軽産直組合

葉とらずりんごの特徴を学んだり、出荷場の見学、農園での玉回し体験など を行いました。さらに、台風19号が農園に与えた被害状況を確認しました。



天候に左右されながらご苦労を重ねて私たちのもとへりんごを届けて下さって いるんだなと実感しました。普段何気なく組合員のみなさんに届けていたりんご ですが、今回の体験を通して生産者の想いも一緒に組合員さんに伝えていきた いと思いました。 益田支所 池田一星



職員農業体験 津軽産直組合

CSR Report 2020 CSR Report 2020 **10** 









# ☆ ☆ 持続可能な生産と消費のために

### 葉とらずりんごの取り組み

生産者の"外見より味に重点をおいたよりおいしいりんごを作りた い"という想いを受け、生産者と組合員、職員が一緒になって育て・つ くる『葉とらずりんご』の取り組みから5年。ようやく"生協の葉とらず りんご"といえる商品に育ったことから、新たなネーミングを組合員 から募集し、『葉とらずりんご葉っぴー』に決まりました。

『葉とらずりんご』の取り組みがはじまってから毎年行っている『葉 とらずりんご交流会』では、取り組みが始まった経緯や生産者の栽培 にかける想い、組合員の「りんごがもたらす家族の団らん」について 交流しました。今後もより生産者と信頼を深め、一緒に『葉とらずりん ご」を守っていきたいと思える交流会となりました。



葉とらずりんご交流会

### もずく基金

もずく基金対象商品を購入いただくと、1点につき2円が、もずくの産地で ある沖縄県恩納村漁協が取り組む『サンゴ礁再生事業』に活かされます。『サン ゴ礁再生事業』とは、サンゴを植え付けることによって海を保全していく活動 です。2009年、生協しまねから始まったこの取り組みは、2010年にコープCS ネットへ、そして今では全国の生協にまで広まっています。



2019年度コープCSネット全体の基金額は、2.107.617円です。

### 声に応えて「ひとことカード」

「ひとことカード」からは、くらしの様々な場面から生まれてくる実感のこもった声が寄せられます。一人ひとり の声から、くらしの背景や起こったことをさらに聴くことで、共感が生まれ、"かたち"になります。声を受け止め、 生協しまねの独自カタログ「だいすき」で企画したり、改善につなげていくことが共に創る豊かな暮らしの一歩に つながります。

組合員から寄せられる商品への声、運営に対する声に、 100%お返事ができるよう取り組んでいます。

	2018年度	2019年度
受付件数	1,561	1,536
回答件数	1,557	1,514
回答率(%)	99.7	98.6

### 「お申し出受付カード」…商品苦情

組合員からのお申し出(商品苦情)については、調査 の上、文書で回答することを基本にしています。2019 年度の受付件数は523件で前年比98.3%(9件減)。 コープCSネット企画(以下、CS)は424件で前年比 93.0%(32件減)、生協しまね独自企画(以下、独自)は 99件で前年比130.3%(23件増)。

平均回答日数は、CSが14.3日(前年同期15.4日)、 独自が15.7日(前年同期13.2日)。いずれも日標の14 日以内を達成することは出来ませんでした。

受付件数は年々減少しています。各支所と本部の連 携を密にして、誠実な対応と迅速な調査・回答を心がけ、 商品の品質改善につながるよう取り組んでまいります。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受付件数	811	758	642	532	523
前年対比(%)	98.7	93.5	84.7	82.9	98.3

#### ●2019年度部門別お申し出件数

		CS企画						独自企画	
部門	農産	水産	畜産		食品	ライフ・年宅・ギフトなど) (しあわせごはん・味彩・美味(しあわせごはん・味彩・美味	食品計	非食	タ食宅配など 夕食宅配など
件数 ※()は前年度	76 (108)	35 (37)	22 (15)	83 (84)	37 (41)	27 (29)	280 (314)	144 (142)	99 (76)
構成比(%)	27.1	12.5	7.9	29.6	13.2	9.6	100		



### 世界中の人々の平和で健康な生活のために

### 折り鶴昇華再生活動

『折り鶴昇華再生活動』の取り組みがスタートして5年目を迎えました。この活動は、世界中から広島の平和記 念公園に届けられる折り鶴を再生原料となるよう分別する活動です。2019年度は大きく県下に広がり、15会場 で開催され、約141名が参加しました。





2019 mill

### 平和への関心が高まりました

この活動が始まった当初から取り組んでいます。この活動をきっかけに、より平和について関心を持つよ うになりました。今年は実際にこの折り鶴がどのように平和記念公園に捧げられているのか見に行ったの で、今回はより活動に熱が入りました。平和をみんなと語りながら、それでいて楽しく取り組むことができま

### ピースリレー



2019年度も島根県生協連と連携して、鳥取県米子市と広島 県三次市でのピースリレー・平和のつどいに取り組みました。 米子市でのピースリレーでは、「世界中の子どもたちに、明る

い未来を残しましょう」と沿道の市民に声をかけながら行進を しました。

ピースリレー(米子行進)のようす

### 戦争体験を語り継ぐ集い

12月7日(土)、島根県民会館にて「第31回戦争体験を語り継 ぐ集い」が開催され、150名の方にお越しいただきました。集い は2部構成で、1部では細田暢三さんより少年飛行兵だった頃 のお話を講演いただき、2部では島根に疎開していた两尾幸子 さんの学友223名に襲い掛かった悲劇を7名の仲間とともに朗 読劇として上演いただきました。



戦争体験を語り継ぐ集いのようす

### ユニセフ募金

2019年度、子どもの死亡数が高い国のひとつであるミャンマーの女性と子どものための栄養支援として、ミャ ンマー指定募金に取り組みました。組合員からは、505.606円の募金が寄せられました。

CSR Report 2020 **12 11** CSR Report 2020











### 事業活動、省エネ、CO2削減の取り組み

### 地球温暖化防止に向けて 温暖化防止自主行動計画

生協しまねは、全国の生協と「地球温暖化防止自主行動計画」を策定し、CO2排出量の削減に取り組んでいます。 2019年度の二酸化炭素(CO2)排出量は、1.309.9トンでした。(前年比100.5%)

### 1. 電気使用状況

19年度の電気使用量(推計値)は1,583,057kwh(前年対比 98.4%)で前年を下回りました。使用量の48.7%を生鮮商品セ ンターの施設が占めています。

①本部は、事務所内の照明をLED化し、省エネルギーへの施設 変更を行ない、前年と比べ削減できています。

②全体消費電力量の約1/2を占める商品センターの削減が 課題です。

(単位		Laub)
(半)//	•	KWII)

(単位:ℓ)

構成比

76.9%

0.3%

22.8%

100.0%

前年比

102.8%

11.1%

92 4%

97.6%

	2019年度	2018年度	前年比	構成比
共同購入	739,040	752,937	98.2%	46.7%
商品センター	771,789	770,277	100.2 %	48.7%
本 部	72,228	84,831	85.1%	4.6%
全 体	1,583,057	1,608,045	98.4%	

### 2. 車両燃料使用状況

3.リサイクル活動

生協しまねは、共同購入が事業の中心であり、生協全体の車両燃 料使用の大部分は配達車両によるものです。商品配達に欠かせな いトラックですが、燃料使用、排出ガスなどの効率化による走行距 離削減やエコドライブの推進などにより削減に努めました。

①しくみ(マップシステム)を使い配送コースを見直すことを継続し

て取り組みます。共同購入では、配送マップシステムを使用した配送効率改善とエコドライブの取り組みによる車両燃 料の削減に取り組んでいます。

②19年度からは、LPG車両を廃止(委託車両を除く)しました。

### ●リサイクル品回収実績(19年度累計)

2019年度 2018年度

242,145.9 247,959.2

180,885.9

7,279.2

59 794 1

186.081.9

55 253 5

810.5

軽油

ガソルン

全 体

共同購入では、毎週発行するチラシや商品を仕分けている袋、牛乳
パック、たまごパックを回収して「コープCSネットエコセンター」でリサ
イクルを行っています。

	累計回収量(kg)	回収率(%)	前年比(%)					
牛乳パック	23,172	89.2	96.2					
共同購入袋	15,210	31.4	103.3					
チラシ類	1,432,383	78.4	96.6					
たまご容器	12,198	79.0	104.1					

### 4.生協しまねソーラー発電所

- ●2013年4月からソーラー発電所を稼働。商品センター(出雲市長浜町)に1,190枚の 太陽電池パネルを設置。(一般家庭の約70世帯分の電力に相当)
- ●一年間の総電力量は316.009kwh、売電実績(金額)12.640.360円でした。



屋根の上と駐車場に設置された太陽光発電パネル

### ■うなぎ協力金の資源対策の取り組み

7月企画「大隅産うなぎの蒲焼」受注1点につき3円を「鹿児島県うなぎ増殖対策協議会」に寄付し、海に戻って産 卵するうなぎを増やす取り組みに協力しました。

(基金額:コープCSネット全体427,443円、内しまね:60,810円)

### ■コープ洗剤キャンペーン環境寄付金確定報告

コープ洗剤8品目を対象商品のご利用1点あたり1円の協賛金を積み立て、「インドネシア領ボルネオ島小規模 パーム農家の生産体制の改善支援」に役立てられます。

(基金額:コープCSネット全体で3,101,680円)

※キャンペーン期間は、2019年5月21日~2020年5月20日までのもの。上記金額は、2020年3月度までの累計となっています。



# 人にやさしく誇りがもてる組織を目指して 「職場の安全・安心」

### 1.雇用・採用の状況

#### (1)雇用及び新卒採用の状況

○2019年度末の雇用状況及び新卒者の状況は以下の通りです。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
正規人数(前年差)	125(±2)	124(▲1)	123(▲1)	123(±0)
定時人数 ※配送スタッフ含む (前年差)	141 (▲3)	114(▲27)	113(▲1)	106(▲7)
新卒採用	2	2	1	2
平均年齢	42.6	43.2	43.6	44.7

#### (2) 障がい者雇用の推進

○「障がい者雇用の促進等に関する法律」により障がい者の法定雇 用率は、平成30年から雇用人数に対して2.2%となりました。島根 県における障がい者雇用は以下のような状況で、全国的に見ても 雇用率は比較的高く、法定雇用率達成企業は全国でも高い水準と なっています。

島根県の状況:障がい者雇用率2.49%(前年よりも0.09%増加、全 国平均:2.11%)

### ※令和元年島根労働局職業安定部「障害者雇用状況調査結果の概要」より

#### (数値は、令和元年6月1日現在)

島根県の法定雇用率達成企業割合:69.5%(前年よりも3.6%増 加、全国平均:48.0%)

○生協しまねの障がい者の法定雇用人数は4人となっていますが、 現在の雇用数は3名です。引き続き障がい者雇用に向けた活動を 推進します。

### 2. 労働安全衛生

#### (1)健康診断等職員の健康づくり

産業医と協力しながら、職員の健康づくりに努めています。全職員 を対象とした健康診断の実施、定期的な腸内細菌検査(検便)、法 令でも義務化されたストレスチェック等も継続しながら、職員の健 康状態を確認し改善に努めます。

### (2) 労働安全

○2019年度はISOの品質目標として数値目標をもって取り組みま したが、労働災害事故発生件数は8件(前年差▲2件)でした。特に 雨の日の荷卸しやハチが活発になる秋に部内報(パオ)を通じて事 故に対する注意喚起を促しました。熱中症対策として冷感タオル の配布を行いました。

○各事業所が月1回実施する「職場巡回チェックシート」の結果をも とに職場内の環境改善については、必要な対応を進めています。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
労働災害件数	3	13	7	7	10	8

### 3. 働き方改革 (時間外労働削減、年次有給休暇取得)

### (1)総労働時間の短縮、時間外労働削減

○総労働時間は5.7時間の減少となりました。責任者のところでの 減少が少ない傾向にあります。作業の分担など改善活動を行って

○時間外労働時間は、支所・本部とも前年より減少しています。支 所では前年より1.8時間、本部では前年より2.3時間減少しました。 引き続き業務の見直し活動を推進して削減し、生産性のある仕事 とワークライフバランスに努めます。

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
総労働時間(前年差)	2,089.1 ( <b>A</b> 38.0)	2,048.0 ( <b>A</b> 41.0)	2,016.7 ( <b>A</b> 31.3)	2,011.0 ( <b>A</b> 5.7)
	2016年度	2017年度	2018年度	2010年度

		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
残業時間(前	年差)	29,432時間 (+2,998)	29,825時間 (+393)	26,572時間 (▲ 3,253)	24,397時間 (▲ 2,175)
1 人あたり 残業時間	支所	26.5(▲0.6)	28.0(+1.5)	24.8(▲3.2)	23.0(▲1.8)
(前年差)	本部	23.6(+6.7)	14.6(▲9.0)	17.0(+2.4)	14.7(▲2.3)

#### (2)有給休暇取得率の向上

○生協しまねでは有給休暇の取得率向上の取り組みを推進してい ます。2019年度の有給休暇取得率は以下表のように正規職員は 2.9%増加しました。

定時職員は12.0%増加しました。配送スタッフは10.7%増加、エリ ア正規職員は13.9%増加しました。

引き続き計画有休の取得や時季指定を通して取得率の向上に今後 も努めていきます。

○平成31年厚生労働省の就労条件総合調査によると、労働者の年 次有給休暇の取得率は52.4%(前年差+1.3%)となっています。生 協しまねの取得状況は一般と比較すると高い水準となっています。 今後も継続して取り組みを進めていきます。

	2016 年度	2017年度	2018 年度	2019 年度
正規職員 (前年差)	52.2%	67.8%	67.1%	70.0%
	(+3.5%)	(+15.6%)	(▲0.7%)	(+2.9%)
定時職員 (前年差)	84.8%	85.0%	88.1%	100.1%
	(+6.2%)	(+0.2%)	(+3.1%)	(+12.0%)
配送スタ <sub>ツ</sub> フ	70.4%	86.5%	103.6%	114.3%
(前年差)	(+1.0%)	(+16.1%)	(+17.1%)	(+10.7%)
エリア正規職員 (前年差)	67.0%	80.1% (+13.1%)	58.0% ( <b>▲</b> 22.1%)	71.9% (+13.9%)

### 4. ハラスメント対策の取り組み

○生協しまねでは、ハラスメント関連の相談窓口を管理部総務 チームとしています。職員の人権を尊重することはもとより、より 働きやすい職場環境の実現や維持のため、コンプライアンス、人間 関係、迷惑行為など各種ハラスメント等の相談を受けています。

○相談窓口については役職員全員に資料(ISOの取り組みで配布 しているポケット版冊子)を活用しながら周知しています。

### 5. 個人情報保護の取り組み

○生協しまねでは、個人情報保護に関する法令および諸規定を遵 守するとともに、2005年に「個人情報保護方針」を定め、組合員や職 員等の個人情報の適切な保護や管理に努めています。この方針は HP等で外部にも公表しています。

○個人情報の保護や管理、事故発生時における迅速な対応ができ るよう体制を整備するとともに、規程類も整備しています。これらの 体制や運用管理の実務は管理部総務チームが中心となり、規程類 の運用状況確認や事故報告の取りまとめをしています。体制面で は、個人情報管理責任者を選任、各部署にも個人情報管理者を任 命・配置し、規程類の遵守に努めています。あわせて、毎年職員にも 学習会を計画し実施して、個人情報の取扱いについて認識を維持 するよう教育・啓発活動をしています。

○これらの遵守状況を点検するため、個人情報保護規程類にもとづ く「内部監査」を実施し、必要な指摘をするとともにそれらの改善を 進めています。

### 6. 労働組合との関係

○生協しまねは労使の十分な話し合いの下、協力して目的の達成 に向けた努力ができる環境づくりを推進しています。

○重要な経営課題については、労使間で月1回を基本に定期開催 している「経営協議会」で検討・協議し、労働組合からの業務の現況 を踏まえた提言を受けながら、議論をしています。人事・労務関連 の諸制度の運用・改定についても、労使双方の課題認識をもとに 十分協議した上で実施しています。

13 CSR Report 2020 CSR Report 2020 **14** 



# ▼ 人にやさしく誇りがもてる組織を目指して

### [品質マネジメントシステム(ISO9001:2015)の取り組み]



### 取組み経過と認証範囲

#### 1.取り組み経過

品質マネジメントシステムの取り組みは2004年から スタートし、2005年5月に初回審査を受け、同年7月に 認証取得しました。2019年度で14年目を迎えました。

当初の取得目的は以下の①~③で、これらのことを 形とするため、国際基準である品質マネジメントシステ ム(ISO9001)を支援ツールとして活用していくという ものでした。

- ①急激な社会情勢の変化に対応していくこと。
- ②今後将来に渡り、組合員のくらしに役立ち続けるため の組織力(人含む)をつけること。
- ③上記のために基本業務を確実に実行でき、無駄や無 理なく効率/効果的な仕事の基盤作りをすること。

### (1)2007年 共済、子会社である(有)協同サービス しまねを適用拡張(取得後、2年経過)

2007年共済(現在:共済チーム)、(有)協同サービス しまねへの認証を拡張させました。生協しまねが今後事 業を発展させていく上で、コンプライアンスやリスク管 理という観点、また業務が煩雑化し、顕在化できていな い部署の整理を進めました。

### (2)2009年 総務課を適用拡張(取得後、4年経過)

法令遵守、文書管理等の改善、教育訓練の状況から、 総務課(現在:総務チーム)を認証範囲に拡張しました。 教育の面においては、OJT (on the job training)中心 では限界があり、将来的に組織として人材育成に取り組 むためには無理がありました。この拡張により将来的な 組織全体としての取り組みにつなげられるようになり ました。

### (3)2013年 全支所への適用拡張(取得後、8年経過)

2011年度の全体方針「コンプライアンスの徹底を図 る視点から支所のQMS認証取得に向けての教育、仕組 みの整理をする」を受けて取り組みをスタートしまし た。2013年の審査を受けて全支所を認証範囲に加え、 ほぼ生協しまね全体の取り組みとしました。

この摘要拡張にあわせて以下のような業務の取り込 みや整理をしました。

- ①安全運転、配送品質(顧客満足度アップ)に関わる 業務
- ②夕食宅配の業務
- ③コープCSネットとの連携強化やその他の委託先の 管理部署、管理方法や指標の明確化

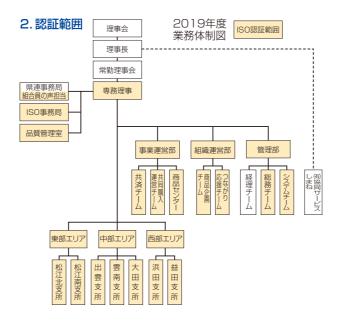
### (4)2017年 ISO9001:2008から2015年版への移行

ISO規格が2015年に改定・発行されたことを受けて、 2015年版への切り替えを行いました。利害関係者、リス ク及び機会、組織の知識、パフォーマンス評価などの項目 が追加され、全面的に見直しをして10月から運用を開始 しました。

また、生協しまね本体を中心に構築した現行マネジメ ントシステムに、子会社の(有)協同サービスしまねが馴 染まないこと等の不具合により、(有)協同サービスしま ねを認証範囲から外しました。

### (5)2018年 食品衛生法一部改正からISO9001と 衛生管理手法のHACCPを統合

食品衛生法が一部改正され、国際的な衛生管理手法 であるHACCPが法制化されました。生協しまねもこの 法制化の対象であるため、食品安全チームを結成して HACCP(衛生管理計画)を検討、構築し、2018年12月 から運用を開始しました。継続的な仕組みの検証、見直 し等も求められるため、ISO9001の仕組みと統合しま



### 内部監査

全指摘件数は69件(前年比94.5%)で、前年よりも4 件減少しました。指摘事項別にみると、不適合9件(前年 比60.0%、6件減)、観察事項33件(前年比86.8%、5件 減)、推奨事項27件(前年比135.0%、7件増)。不適合及 び観察は減少し、推奨は増加しました。

指摘内容で一番多かったのは、職員への教育・訓練に 関するもので、全指摘の18.8%にあたる13件でした。

2015~2019年度 指摘事項別件数推移表

	2015	2016	2017	2018	2019
不適合	11	12	12	15	9
観察事項	54	63	43	38	33
推奨事項	17	17	8	20	27
合計	82	92	63	73	69
前年比	72.6%	112.2%	68.5%	115.9%	94.5%

### 外部審查

#### 1. 定期審査の結果

5月27日~29日(3日間)、審査登録機関DNV・GLに よる定期審査が実施されました。審査では不適合が1件 あったため、是正処置を実施し、改善後に認証更新とな りました。

### (1)審香内容

審 査 機 関: DNV GL(審査員2名)

審 査 部 署:下記(2)①の表のとおり

焦点エリア: 継続的改善への効果的な取り組み

#### (2)審査結果

①指摘件数:9件

部署ごとの指摘事項内訳は以下表のとおりです。

部署名	トップ	管理責任者	事業運営部		管理部		支所				
			共同購入運営下	共済T	商品センター	総務T	システムT	松江南	浜田	―S〇事務局	合計
不適合	_	_	1	_	_	_	_	_	_	_	1
観察事項	_	_	_	_	2	_	1	_	_	_	3
改善の 機会	_	_	1	1	_	1	1	1	_	_	5
特筆すべき 活動	_						_	_		_	0
合計	_	_	2	1	2	1	2	1	0	0	9

- <不適合>仕組みやその運用について不備がある場合 の指摘。審査機関には是正処置とその報告が必要。
- <観察事項>不適合ではないが放置しておくとその可 能性がある場合の指摘。
- <改善の機会>ルールにそって運用されているが、より 効果的に運用した方が望ましい改善指摘。
- <特筆すべき活動>前回の監査から著しく改善、効率や 有効性に関し期待以上の成果がある等の活動。

### ②審査機関からの総評

### 【良い活動への所見】

- ·品質目標から重点行動プランが策定され、例えば[ミ ス率17ppm以下」の目標に対して、上期総括で目標の 進捗管理のみならず傾向分析を行い、下期には2項目の 新たな対策が設けられ、果敢に目標に挑戦されていま した。(商品センター)
- ・カタログ未発行組合員が7千人と多いことが課題であ り、当該課題に対して、利用しにくい理由を尋ねる等の インタビュー(電話、訪問)によるアプローチ(13週間未 利用者)が積極的に進められており、今後の具体的な成 果につながるものと期待されます。(松江南支所)

### 【主要な改善領域】

- ・自支所の現状(リスク・機会等)を認識するため、一部 の支所で利用されていた「現状分析シート」の効果的な 活用およびQMSへの効果的な反映が期待されます。 (浜田支所、松江南支所ほか)
- ・業務の役割分担(例:支所と各事業3部の役割分担等) が適切に行われていますが、部分適合へ結果的に陥る ことなく、内部コミュニケーションを強化するなど、今以 上に全体適合へ向けた活動が期待されます。(例1:職員

の高い定着率、支所でのモチベーション管理→総務の 人材募集活動への展開、例2:宅配事業マニュアル等の 文書の作成·変更管理は共同購入運営T→文書を活用 している支所からの改訂要請など)

- ・内部監査の是正処置要求書では、原因特定・是正処 置・有効性評価まで実施されていました。しかし、できれ ば総務Tへのフィードバックにより、是正処置の有効性 検証を含めた総務T職員への最終的なフォローアップ が期待されます。(総務T)
- ・2019年度実行計画書が作成、発行されていますが、目 標数値が設定されていないようにも見受けられます。 (口頭での回答はあったものの明示されていない)た め、定量・定性の目標の設定管理の確実化が期待されま す。(総務T)
- ・2017年度および上記2018年度の是正処置要求書の 有効性評価(処置の検証)のフィードバックが提示され ず、ISO事務局からフィードバックされているか不明瞭 な状態でした。ISO事務局からのフィードバックおよび 担当部門からの検証結果の催促といった働きかけも必 要と考えます。なお、有効性評価(処置の検証)はISO事 務局にて記載され、各部署に送付されています。(共同 購入運営T)

### 2.審査を終えて

審査員から記録類について、作成・保管が問題なく行 われ、各種報告書も詳細な分析があるなど総じてしっか りなされているとの評価をいただきました。

一方、既存のマニュアル・規定には、作成・変更する側 (主管部署)と使用する側に「誰のための文書なのか(主 体性)」という意識・認識が欠けているとの指摘がありま した。例えば、作成目的がよく分からない規定(例:共済 T業務規定)や、使用する側の主体的な関わりがないマ ニュアル(例: 「支所 共済事務・保全・推進関連マニュ アル」、「宅配事業マニュアル」)など、文書の作成・維持・ 運用において改善課題があります。

また、個々に素晴らしい取組みや活動、実績があるに もかかわらず、それが共有され、十分に活用できていな いことへの指摘がありました。例えば、支所の配達担当 者が組合員に模範的な対応をしている事例が全体で共 有できていないこと。生協しまねの職員定着率は高く、 支所では職員のモチベーション向上に努力しており、採 用難において利用できる内部情報はあること。内部コ ミュニケーションの改善とそこで得られた情報の有効 活用が求められています。

### 3. 次回の審査予定

(1)更新審查

(2)日程:2020年5月25日~5月27日

CSR Report 2020 **16** 15 CSR Report 2020







- ★保険商品契約数は『平成30年版インシュアランス生命保険統計号(個人保険種類別子ども保険契約)』に基づき、共済団体 契約数は『共済年鑑 2019年版』に基づいています。
- ★各保険・共済によって、子ども向け保障商品の加入年齢・満期年齢・保障内容等は異なります。《たすけあい》ジュニア 20コースは、加入年齢0歳~満19歳・満20歳満期の商品です。他の保険・共済ではジュニア20コースよりも加入年齢・

ウェブでも公開中! \_

http://coopkyosai.coop/portal/#fact

右面も

ご覧ください

K-75604-2004

コープ共済の 《たすけあい》ジュニア20コース

# 《たすけあい》ジュニア20コース 子ども向け保障契約数 の理由…それは

### 月掛金1,000円~で充実の保障!

J1000円 の場合…

ケガ通院1日目から日額2,000円 入院1日目から日額6,000円が保障されます。

さらに月掛金2,000円でより充実した保障内容のJ2000円コースや、 加入条件がゆるやかな」1900円コースもあります。

### 共済金の請求がしやすい!



ケガで1回病院に 行っただけでも、 請求できる!



### ケガ通院1日で共済金を請求できた

後に息子が部活で膝を痛めて通院、たった1日だけでしたが共済金が 支払われ改めて加入して良かったと安心しました。掛金もお手頃なの で、これから先もお守りとして長く続けたいと思っています。



診断書がなくても、 領収書・レシートでも、 請求できる!

※ご請求やご契約の内容によっては、所定の診断書が必要となるケースがあります。 ※2019年5月現在の基準です。



### レシートで請求できた

に飾っています。



乳幼児医療費助成制度などで

自己負担がなくても、 請求できる!



### 医療費助成制度があっても請求できた!

象外になる差額ベッド代や食事代が考えていたより高く、付き添い者 の食事代や交通費もかさみました。娘の健康には代えられませんが 費用負担に驚きました。本当にありがとうございました。

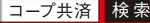
※掲載内容はあくまでも例です。お支払い内容や共済金請求書類につきましては、ご契約内容・ご請求内容によって異なります。

コープ共済は主に地域の生協(コープ)で取り扱っている

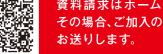
生活協同組合(生協)は、お店や宅配、コープ共済、福祉・介護など様々な事業でくらし をサポートしております。いずれかひとつからでもご利用いただけます。 ※お住いの地域によって、サービスが異なります。詳しくは、お近くの生協までお問い合わせください。

○CO・OP共済は個人情報を大切にし、個人情報保護法を守ります。 資料請求は

こちら







<u> 資料請求はホームページ上からも行っていただけます。</u> その場合、ご加入の生協もしくはお近くの生協から資料を

[お問い合わせ先]

120-50-9431